

7月の窓

校長室だよりを書き始めて6年目になりますが、最初に何を書くか困ることがあります。そういう時は、季節に関する話題を書くことが多くなり、そのため、二十四節気の話をよく書いてしまいます。

今年は7月7日が「小暑」で、いよいよ夏らしい暑い日が続くことになります。古来、日本人は暑さ対策としていろんなことをしてきました。打ち水もその一つです。広辞苑には、「ほこりを鎮めたり暑さをやわらげたりするため、道や庭先などに水をまくこと」とありましたが、茶道では、客を迎える夏のもてなしでもあるそうです。

水打てば 夏蝶そこに 生まれけり……………高浜虚子
打水の ころがる玉を 見て通る……………飯田蛇笏

6月には、県高校総体、文化部の展示会・定期演奏会・定期公演、そして1年生にとっては初めての中間考査など、さまざまな行事がありました。

多くの3年生にとって最後の大会となる県の高校総体には、すべての運動部が予選を勝ち抜き、出場することができました。フェンシング種目では、男子1名と女子1名が、なぎなた種目では女子2名が、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場権を得ることができました。この他にも、テニス女子のシングルス2名と卓球女子のシングルスとダブルス各2名が、6月下旬に開催された東北大会に出場しました。他の競技より遅れて開催される水泳部も、個人とりレー多くの種目で、7月第3週に開催される東北大会に出場することになりました。今年のインターハイは、大分、福岡、佐賀、長崎の北部九州4県での開催で、フェンシングは大分県、なぎなたは佐賀県での開催となります。なお、県高校総体の結果の詳細については、本校ホームページ内の「山東通信6月号」をごらんください。

文化部も、さまざまな活動を行っています。書道部は、6月中旬、校内の中央廊下で書道部展を開いてくれました。美術部は、6月下旬、山形市七日町にある県芸文美術館で、新入生歓迎展を開催しました。最初の写真は、校内での書道部展で、第3学年からのお祝いの花も飾られていました。次の写真は、美術部の新入生歓迎展で、第3学年からのお祝いの花の他に、文化部OB会からの花も届いていました。新入生歓迎といっても、1年生の作品も展示されていました。



また、6月15日（土）には、山形駅西口にある施設「テルサ」で、吹奏楽部の定期演奏会がありました。本校生徒やその保護者、同窓生はじめ、多くの人たちにご来場いただきました。ざっとみて500人は入っていたように感じました。野球部の生徒も練習を終えて来てくれました。全員来てくれたのかとたずねたところ、「はい、吹奏楽部のみなさんには、いつも試合の応援でお世話になっていますから。」と答えてくれました。

6月29日（土）には、山形市中央公民館（AZ）で、演劇部の定期公演がありました。「山形東高校演劇部水無月公演」というのが正式名称で、毎年この時期に行っており、3年生にとっては、最後の公演となっているそうです。今年の作品は野田秀樹脚本の「南へ」というもので、富士山の噴火、戦争、北朝鮮、天皇制などが複雑に関わりながら展開されていくむずかしい作品です。前日のリハーサルも見せてもらいましたが、正直だいじょうぶかなという不安もありました。しかし、当日の部員の演技は、実に堂々としており、プロの劇団の演劇をみているようでした。私は、演劇部のある高校は初めてで、演劇部の通常の活動には驚かされてきました。毎日4時近くに校長室まで響いてくる発声練習で、演劇部の練習は始まります。被服室での衣装づくりをしている時もあれば、玄関の外でのこぎりや金槌を使って大道具・小道具を作っている時もありました。公演では見ることのできない地道な努力があって初めて演劇が完成することを知りました。写真は、公演を終えた部員たちが、来場者にお礼のあめを投げているところです。私個人としては、これだけの作品を演じてここで終るのはもったいない気もしますが、3年生はこの日のために

練習してきたので、表情からは充実感を感じとることができました。



そして6月30日（日）には、文翔館議場ホールでマンドリン部のコンサートがありました。マンドリン部は、私が約20年前本校に勤務していた頃もあったはずなのですが、あまり印象としては残っていませんでした。しかし、昨年新聞で、老人ホームでボランティアコンサートをしていることを知り、4月に赴任してからは、朝そして放課後毎日マンドリン部の練習風景を見てきました。1年生が23人も入部し、50名近い部員となったため、練習場所の確保にも苦労してきたようです。文翔館議場ホールには、200席程度の椅子を準備できるのですが、座れず立ち見となった方も多く、300人くらいの来場者があったようです。このホールでは、以前何度かコンサートを聞いたことがあり、少し狭いことを除けば、最高の会場だと思います。マンドリンコンサートも初めて聞きましたが、マンドリンやギターなどの限られた楽器でも、素晴らしい演奏となることを知ることができました。演劇部の次の写真は、最後のアンコール曲演奏のところでは、

最後に、今月も校内にある芸術作品を紹介します。

細梅久弥先生の「初市」という同じタイトルの作品が、校内の廊下に2つ飾ってあります。細梅先生の作品には、山形市の初市を描いたものが多数あり、この2つもそうです。1枚目の絵は、高さ45センチほどですが、2枚目の絵は幅160センチ以上もある大作です。確か県庁の1階ロビーにも、細梅先生の「初市」の作品が飾ってあったと記憶しております。私が高校生の頃、先生は本校の美術の先生でもあり、退職後も多くの絵を残されましたが、残念なことにおなくなりになりました。

